



JARA NEWS

JAPAN AUTOMOBILE RECYCLE NETWORK NEWS

Vol. 96 FEBRUARY 2016 <http://www.jara.co.jp>

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shinwa Bldg. 1-2-2-7F
Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

鉄スクラップ価格 急落続く リサイクル業界へ の影響深刻

鉄スクラップ価格の急落が自動車リサイクル業界の波乱要因になり始めた。2015年1月には全国で1トン当たり2万5千円前後で推移していた価格が同年11月には1万4千円前後まで下落。廃車ガラの出荷が収益の多くを占める事業者にとっては「死活問題になっている」（自動車リサイクル団体幹部）状況だ。「逆有償」を指摘する声もある中、リサイクル業界を取り巻く経営環境は厳しさを増している。

◆3割強まで落ち込む、逆有償指摘する声も

日刊市況通信社によると1トンあたりの鉄スクラップ価格は、昨年1月ごろの最高値で関東の2万6500円。そこから8月には一気に4千円下がる地域もあるなどし、11月には1万4千円近辺で推移している。13年頃には1トン当たり4万円をつけていたスクラップ価格はここに来て3割強まで落ち込んだ。

リサイクル業界への悪影響は深刻だ。スクラップ価格が現在の価格で推移した場合、「（使用済み車の）運送費や処理費用、人件費などを考慮すると1トンあたりの利益は7千～8千円

程度だろう」（解体事業者大手）というのが現状。使用済み車の入庫から解体処理工程などを含めると収益を確保しにくい状況が浮かび上がる。特にスクラップ事業が収益の多くを占める事業者にとっては経営基盤が揺らぐ事態に陥りつつある。

このままスクラップ価格が下落し、引取事業者からの使用済み車の引取価格が上がらなければ車両の不法投棄問題も再燃しかねない。解体事業者だけでなく、引取事業者を含めた関係者間での調整も今後必要になりそうだ。

加えて、鉄スクラップ市況の悪化が使用済み自動車の引取台数に影響しているとの指摘も出ている。自動車リサイクル促進センター（JARC）が集計する15年度上期（4～9月期）の使用済み車引取台数は前年同期比約9万台減の約162万台。過去最低の水準で推移しているが、JARCは資源価格の下落により「オートオークション（AA）で、（自動車リサイクル事業者による）車両の買い控えも起きているのではないかと」の見方を示す。

海外輸出の活発化を背景にAAに出品されている車両の価格は高騰しており、廃車ガラなどにした場合は赤字になるケースも多いとされる。このため処理台数を減らし、損失を低減する動



鉄スクラップ市況の悪化がリサイクル事業者の収益を圧迫している

きが水面下であると見られる。

◆具体的な対応策の練り上げが不可欠に

一方、リサイクル事業者にとってはスクラップ事業のほかに収益の柱となるのがリサイクル部品販売だ。ただ、これまでスクラップ事業が中心だった事業者の場合は「急にリサイクル部品の販売を始めても、いきなり儲かるほど簡単ではない」（リサイクル部品流通首脳）。部品の生産にはノウハウも必要で、市場が伸び悩む中で売れ筋の商品を効率的に販売することは一朝一夕では身につけられないのが実情だ。

直近のスクラップ価格を見ると1万6千円程度まで反発している地域も徐々に出始めた。今後、市況改善への期待も高まると見られるが依然として安値圏で推移していることは変わっておらず、業界全体で具体的な対応策を練り上げる必要もありそうだ。

日刊自動車新聞 1月7日

Links Japan
リビルトエンジン
極品
株式会社リンクスジャパン www.links-jpn.com

JARA
「ありがとう」を
たくさんもらえる会社へ
<http://www.jara.co.jp/>

吉岡グループ
低価格
高品質
豊富な在庫
資源循環型社会を実現
資源循環型社会を実現へ
株式会社吉岡商店 〒649-6222 和歌山県新市市岡田575-1
Tel: 07-3662-2229 Fax: 07-3662-1518
Mail: info@yoshiokashoten.co.jp
有限会社セカンドパーツ 〒649-6222 和歌山県新市市岡田695
Tel: 07-3661-5311 Fax: 07-3661-5314

JARA、リビルト部品 独自品質基準 策定へ

リサイクル部品流通ネットワーク大手のJARA（北島宗尚社長、東京都中央区）はリビルト部品メーカーとの懇話会をこのほど東京都内で開催した。リビルト部品メーカーを集めて、JARA側から昨年の取引実績や今期の取り組みについて説明。その後、取引における状況などについて意見交換を行った。

懇話会では、昨年の取組みとしてリビルトメーカー工場にJARA会員が訪れ工場見学や事業について講義を行う勉強会などを紹介。またリビルト部品の販売拡大に向けて組織で取り組むキャンペーンの現状についても説明



JARA、リビルト部品 独自品質基準

した。同社は昨年、リビルド事業の強化策の一つとして全国のブロックで勉強会を重ねており、会員を対象にリビルト部品への理解促進に注力している。

リビルト部品市場は段階的な市場拡大が続いており、需要は確実に増えつつある。一方で品質に関する明確な基準がなく、販売を行うリサイクル部品事業者にとってはリビルト部品への理解が欠かせない。JARAは今後、部品の品質面も見極めながらリビルト部品事業に取り組んでいきたい考えだ。

また、同社が取り扱うリビルト部品の品質に関する基準を設ける検討に入った。リビルト部品は現在業界で統一された品質基準がなく、リビルト部品メーカー各社で品質を規定している状況のため同社独自でリビルト部品の品質を明確化し販売先の信頼性を高める。

リビルト部品は一般的にコア部品と呼ばれる中古部品を洗浄、分解、修理し、消耗部分に関しては新品部品と交換して完成品を組み立てる。リユース部品に比べて製造工程のなかでコストがかかり、値段も比較的高い傾向がある。この製造工程に関しては各リビルト部品メーカーによってさまざまであり、業界全体での統一された品質基準は設けられていない。

このためリサイクル部品販売事業者にとっては、グループ内で取り扱うリビルト部品の特徴をひとつひとつ理解し整備事業者などの販売先に説明することが求められるが、担当者にとっては大きな負担となり難しい一面もある。

知する。

ロジ研はリサイクル部品の運送費高騰への対応策を議論することを目的に、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合や旧エコライン、旧SPN、ビッグウェーブ、ARN、エス・エス・ジーの6団体とシステム会社のブロードリーフが2013年に立ち上げた。その後システムオートパーツや、部友会も加わっている。

今回とりまとめるマニュアルは運送会社などの意見を取り入れながら、コストや可搬性を考慮。指定したそれぞれの部品について各団体の梱包方法のなかで最も適した手法を選んだ。推奨マニュアルを設定するのは、フロントドア、フェンダー、ボンネット、ホーシング、ラジエータなど14部品としている。

動画には推奨理由として、「資材コ

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用による
CO2削減効果参考値
平成27年12月

3,125t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

る。

JARAではこのような背景も考慮し、自社で取り扱うリビルト部品の品質の明確化に着手。同社が取り扱う条件として（1）部品を引き渡した後に起こった賠償事故（生産物賠償事故）に対応できる製造物責任法（PL法）への加入（2）環境や品質に関するISO（国際標準化機構）規格の取得などを現在検討している。

同社は取引がある約30社のリビルト部品メーカーに対しすでにアンケートの配布も行っており、各社の現状と今後の方針を集約し、取り扱う基準などをとりまとめ正式に発表する。

日刊自動車新聞12月24日・1月7日

ロジ研 最適梱包手法を2月中に決定 動画で各団体に配布

自動車リサイクル部品流通グループやシステム会社、大手運送会社などで構成する「自動車リサイクル部品ロジスティック研究会」（ロジ研、座長＝北島宗尚JARA社長）は、「自動車リサイクル部品推奨梱包マニュアル」を策定する。ロジ研内での各団体や運送会社の議論を経て、2月中にも部品別の最適な梱包手法を決定。動画でまとめたものを参加団体に配布することで、運送に理想的な部品ごとの梱包を業界に周

スト+作業コスト=梱包コスト」で割り出した「梱包仕様評価」を盛り込む。またナレーションと字幕を、日本語版と英語版で準備する。正式なマニュアルはロジ研の成果物として活用し、各団体が組織内に取り込んでいく方針だ。

日刊自動車新聞 1月21日



部品別に梱包ダンボールのサンプル作成にも取り組んだ

KOBELCO

燃費のコベルコ!
低炭素社会の実現へ

コベルコが提案する 新しい考え方

1979年世界初の自動車解体機の発売以来、
30年以上にわたって金属リサイクル分野で常にリードし、
環境負荷の低減に貢献してきました。

マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体および
さまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。



SK135SRD

SK210D

コベルコ建機株式会社
<http://www.kobelco-kenki.co.jp/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

New ideas come from KOBELCO

Since launching the world's first car-dismantling machine in 1979,
KOBELCO has continued to take the lead in the metals recycling industry.
For over 30 years, we have contributed to reducing environmental impact.

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life cars,
Multi-Dismantling Machine can break down
various metal products and equipment
such as used household appliances and
can separate and sort various composite
material wastes.

Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently
separates and sorts raw materials in
end-of-life cars and is able to recover
rare earth metals.



SK210D



SK210D

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.
<http://www.kobelco-europe.com/>
KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.
<http://www.kobelco-usa.com/>

KOBELCO

神鋼 无坚不摧!
您满意的选择

新构想源于神钢

1979年世界第一台汽车拆除机发售以来，
30多年来一直引领金属再生领域，
在降低对环境压力方面功不可没。

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以
拆除废家电等金属制机器以及各种复合
废弃物品的拆除、分类作业。

汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，
能够回收稀金属资源。



SK135SR

SK200

成都神鋼工程机械(集团)有限公司
<http://www.kobelco-jianji.com/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

새로운 발상은 KOBELCO에서

1979년 세계 최초로 자동차 해체기를 출시한 이래,
30여 년에 걸쳐 금속 재활용 분야에서 항상 앞서서서
환경 부하 저감에 공헌해 왔습니다.

멀티 해체기


용도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의
해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR



SK200

 (주)삼정건설기계
<http://www.samjung-kenki.co.kr/>



Go Go Japan Industry (M) Sdn Bhd

Lot 15, Jalan 4/32A,

Mukim Batu Industrial Area, 6½ Mile Off Jalan Kepong

52000 Kuala Lumpur, Malaysia.

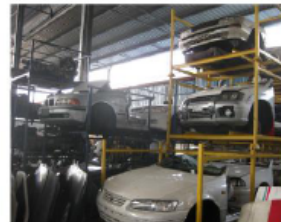
Tel : 03-62415258 Fax : 03-62415285



高品質
High Quality
品质高超



低価格
Reasonable Price
价格合理



迅速なデリバリー
Speedy Delivery
交货迅速



優れたサービス
Excellent Service
服务卓越



For Enquiry, Please Contact / 询问洽购, 请联络 : 03-6241 5258

< Parts Supplying Fully Back Up by HIDA TEC Japan >

Tel : 025-539-1515

Email: narc-2001@helen.ocn.ne.jp



JOUETSU Branch

Tel : 025-274-1516

Email: narc-2004@ace.ocn.ne.jp



KAETSU Branch